

高等学校 令和 6 年度（2 学年用）教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

单位数： 1 单位

使用教科書：（ ON!2 ）

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】課題に対する意識を持ち、音楽のよさや美しさを感じて主体的に表現活動に取り組み、深める。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽表現に関わる知識を得たり技能を生かしたりできる。曲想と音楽の構造や文化的、歴史的背景とのかかわりについて理解を深める。個性豊かな表現やその効果を生かして表現する為の技能を習得する。	音楽の諸要素やそれらの関連について知覚・感受し、知覚したごとく感受したことに関りを考えている。楽曲に相応しい表現について考えて判断し、個性豊かに表現を創意工夫したり深く味わって聴く。	課題に対する意識を持ち、音楽のよさや美しさを感じて主体的に表現活動に取り組み、深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 単元 創作とギター弾き歌い 【知識及び技能】 高音部譜表の正しい記譜ができる。コードと旋律の関係を理解して単旋律が創作できる。ギターでコードをアルアイレ奏法で弾くことができる。創作した旋律をギターを弾きながら歌うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律に統一感や山場を工夫することができる。また、それらを意識しながら演奏を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品を完成させようと努力できる。創作した旋律に愛着をもてる。	・指導事項 記譜や楽典の知識、コードと旋律の関係、ギターのアルベジオヤストロークの奏法等 ・教材 「北の国から」「夢の中へ」他 ・一人1台端末の活用 創作の参考音源としてインターネットでJポップ等の作品を聴く。	○	○	○	○	・コードに則った旋律が作れている。 ・旋律の統一感や山場が創出されている。 ・イメージを記譜するための楽典の知識を理解している。 ・歌と伴奏のバランスを考えて、弾きながら歌えている。	○	○	○	12
2 学 期	全員参加の作品発表会を実施し互いに鑑賞しあう。【知識及び技能】 各自の旋律の統一感や山場を聞き取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 聞き取った旋律の統一感や山場について、その効果や良さを適切に判断することができる。著作権や音楽配信の状況、自分と音楽の関わりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の作品同様に他人の作品を尊重し愛着を持つことができる。	・指導事項 各自の工夫点に気づけるよう、集中して聴きらせること、他の作品を聴いて自分の作品の振り返りをする。音楽と自分の関わりや自分の生活や社会の中の音楽、音楽文化について考える。 ・教材 生徒の作品、著作権についての読み物、自分と音楽のかかわり方について考える。				○	・自分や友人の作品の良さや工夫に気づいて、正当な評価をすることができる。 ・自分の音楽とのかかわりが、自分の生活や社会の中の音楽、音楽文化に与える影響に思いを巡らせ、プロの作品や音楽活動を尊重する態度や姿勢が養われた。	○	○	○	1
2・3 学 期	B 単元 合唱 【知識及び技能】 発声の技術を磨き、より深い響きの声を目指す。他のパートの動きやハーモニーを聞きあうことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 歌詞の内容を理解し、旋律の特徴やテクニクを掴み、表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 混声4部の合唱曲を協働して意見交換をしながら仕上げる。	・指導事項 発声、発音、強弱の表現、呼吸、フレーズを意識した歌い方、音楽史的な表現の特徴、舞台の演奏マナーについて ・教材 「流浪の民」 ・一人1台端末の活用 歌詞の世界観についてインターネットを使って理解を深める。	○				・歌唱技術を向上させ、より深い響きのある声で歌唱できる。 ・旋律や曲想の変化を感じ取り、それらと音楽の諸要素の関わりを考えて、より深い表現に結びつけている。 ・楽曲に相応しい表現の仕方をイメージをもって工夫し積極的に表現活動に取り組んでいる。 ・協働して仕上げようと意見交換しあうことができる。				14
										8	
										合計	35